

「担い手育成特定資産事業 活動事例紹介 菊池美由紀さん（遠野市）」

執筆者 中部農業改良普及センター 遠野普及サブセンター 佐藤成利

遠野市で野菜栽培に取り組んでいる菊池美由紀さんを紹介します。

菊池さんは長く勤めた会社を退職し、平成29年に就農、今年5年目になります。

現在、専業農家の両親から借り受けた農地で、時折、ご両親や娘さんの手伝いを得ながらピーマン10a、にんにく5a、にんじん5aの経営を行っています。

平成30年には担い手育成特定資産事業を活用してトラクターを導入しました。当初はトラクターの運転操作に戸惑うこともありましたが、いまでは操作に慣れ、マルチの敷設や畑の耕起等の作業を一人でしっかりとこなせるようになりました。

現在の課題は、ピーマンの単収向上です。これまでもてんろ石灰の投入などにより総合的な青枯対策に取り組んできたところですが、この取組を進め、より安定的な収益の確保と向上を目指しています。

持ち前の明るさと元気で地域農業をますます盛り上げてくれることを期待しています。



中部農業改良普及センター（遠野普及サブセンター）
の中村農業普及員に個別栽培指導を受ける菊池さん



導入したトラクターによる耕起